



(長野県 八ヶ岳 白駒池 写真提供:12F看護部 橋本小夜子)



わかりやすい、
より安全な病院をめざして

国家公務員共済組合連合会 名城病院長 早川 哲夫

名城病院では、良い医療を安全・確実に提供できるように、いつも心掛けております。

病院は、地域の皆様が必要な時に適切な場所に行って、みてもらえ、あるいは相談できることが大切だと思います。

昨年は十階に療養病棟、六階に循環器センターを開設しました。

十階の療養病棟は服部正樹療養病棟管理部長と前田タツ子師長を中心に、急性期病棟から在宅療養へスムーズに移れるようにお手伝いしております。六階の循環器センターは、心筋梗塞などの循環器疾患を循環器内科と心臓外科のスタッフが入院から手術まで首尾一貫した治療ができるよう日夜頑張っております。

今年も七階に脊柱・脊髄センターを開設しました。腰痛、側弯症などの整形外科的疾患を中心に治療致します。

先日は、側弯矯正装置の考案者のドクターキャンベルがアメリカからはるばる来日し、名城病院の川上紀

明整形外科部長の見事な手術を見学し、満足して帰られました。身体の成長に合わせて装置を調節できるので、良い治療成績が期待できます。

名城病院と地域の診療所が連携して皆様の病気のお世話が出来るように病診連携部を開設し、部長に村上文彦 心臓外科部長が就任しました。皆様の医療上の相談窓口としては、医療福祉相談部が独立し、MSWの小林哲朗室長を中心に皆様の相談を受けております。

このほかに、院内の診療の質の向上をはかるため、三人の院長補佐を任命しました。臨床研修担当に木本英三 内科部長(十月一日付で診療部長に昇任)、医療安全管理担当に正橋鉄夫産婦人科部長、情報管理担当に岡村武彦泌尿器科部長がそれぞれあたります。

以上のような新しい体制で、良い医療を安全・確実に提供できるように、職員一同頑張っております。どうぞよろしく、お願い申し上げます。

名城病院

NST稼働施設として認定



名城病院では、平成15年4月よりNSTプロジェクトを立ち上げ、医師、栄養士、各コメディカルが一体となり、チームとして入院患者様の栄養管理に取り組んでいます。

この度、日本静脈経腸栄養学会より学会認定のNST稼働施設として認定証を受けました。

★NST=Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム

医療福祉相談室のご案内

病気になること、さまざまな心理的・社会的ストレスが生じて悩まされることが少なくありません。当院では医療ソーシャルワーカーが、病気やケガによって生じる不安や心配について、よくお話をうかがい、社会福祉の立場から一緒に考え、解決のお手伝いをしていきます。たとえば「病気について不安である」「入院や退院後の生活について心配」「介護保険や福祉制度について知りたい」「家族の悩みを聞いてほしい」「医療費・入院費が心配」などのご相談があります。

相談をご希望される方は、医師や看護師、その他職員まで申し出てください。医療福祉相談室(地下2階)までお越しください。相談内容についての秘密は守ります。

受付時間は、月曜日～金曜日の午前9時～午後4時までです。面接は予約制ですので、ゆっくり時間をとってお話をうかがいます。どうぞお気軽にご相談ください。



閉塞性動脈硬化症 について

心臓血管外科部長
村上 文彦

当、胸部心臓血管外科はその名が表すように、胸部疾患である肺、縦隔、胸郭の腫瘍などの外科的疾患、心臓の外科的疾患に加えて胸部・腹部の大血管の外科的疾患を扱っております。

肺、縦隔、胸郭の分野には肺癌、胸部の外傷、自然気胸などに対する手術、心臓の分野には狭心症・心筋梗塞のバイパス手術や弁膜症に対する手術、小児先天性心疾患に対する手術等が含まれます。最後の血管外科の分野には実際の病名で言うと胸部や腹部の動脈瘤があり、もう一つには閉塞性動脈硬化症という動脈硬化による血管の閉塞による疾患が属します。当科

に実際訪れる方は他の科（呼吸器科、循環器科、小児循環器科、消化器科など）からのご紹介でいらっしゃる方がほとんどですが、閉塞性動脈硬化症に限っては、直接当科を受診される方もおられます。

症状としては、しびれ、冷感、疲れやすさなどに始まり、長く歩くとしびれや痛みがひどくなり、休むと軽快する（間歇性跛行：かんけつせいはこう）、色調の変化（白くなったり、赤くなったりする）があり、最終的には潰瘍ができたリ一部が壊死したりするようになります。

診断は先ず上下肢の血圧の測定、脈の触知の確認等で行い、疑わしい場合にはMRIを行います。以前は入院して造影剤を使用する血管造影検査を行っていましたが、現在は造影剤の不要な当検査で十分な診断ができると言われ

ています。高度の狭窄や閉塞が認められる場合には、症状の軽重で治療を決めています。抗血小板剤や血管拡張剤を内服することで現在の状態が維持でき、また現在の生活が維持できる方は内科的な治療を行います。

一方、著しい生活の制限や組織の壊死等が見られる方には手術のお話をしています。手術は、血管内に風船をいれて、狭い部分をふくらませる（PTA、ステント挿入術）方法が血行の正常な部分から新しい水路をつくる（バイパス手術）方法を患者の状態、疾患の様相によって選択しています。

この疾患の原因・危険因子としては高血圧、高脂血症、糖尿病等が上げられます。

危険因子のある方で思い当たる症状があるようでしたら、お気軽にご相談ください。

敬老の日に 急患でかかれた 患者さまから

前略、御免下さい。
私、名古屋市北区に住んで居ります一人の老婆です。名城病院は、ことある度に通院して居ります。義姉と主人、二人を親切に最後まで看護して頂き、天国にて喜んで居ることと思えます。現在は私一人生活をして居ります。心配なのは、身体が悪くなった時。でも私には名城病院があります。心強く毎日毎日暮らして居ります。二日前の敬老の日、体調が悪く電話をしました。夜間診療でした。内科の先生と看護師さんが優しくしてくださいます。涙が出る程、感謝で胸がいっぱいでした。病院に来られるおじいちゃんも私と同じ気持ちだと思います。子供たちが敬老の日にはささやかに祝って呉れますが、今年は子供以外にも。こんなに嬉しい敬老の日は有りません。本当に有り難う御座居ました。字が下手なのでごめんなさい、わからない字は後先考えて読んで下さい。名城病院は、優しい良き先生がいっぱい。優しい看護師さんいっぱいおられます。院長先生、誇りに思ってください。

5階病棟 入院患者さま から

前略、御免下さい。
面会時間を守ってほしい。長い間いると、休めない。
(病院側の対策)
最近、面会時間が守られていないことに気付いていました。特に朝、外来通院患者様がついでに寄ることも多く、「安静を守るための面会時間を守るように協力ください」と、ナースステーション前に立札を立てることをしました。

外来患者さま から

前略、御免下さい。
本日七月十二日、私、胃カメラをのみ、たった今、我が家に着きホッと一息ついて居るところです。胃カメラは三回目、そちらでは二回目ですが、恐怖の十分間が今回ほどともうれい十分間でした。という事は、やさしい看護師さんがそと私の肩に手をかけて下さり、静かにやさしく「そう、そう……」と言ってお下さったのが、私の心を癒してくれました。以前の二回ではなかった経験で、よくお礼を言って帰りましたが、今なおピンクの服の看護師さんのことが忘れられません。「本当にありがとうございました」とお伝えくださいませ。かしこ



今号から患者様からいただいた投書を掲載します。患者様の生の声を載せることもに、我々職員が少しでも患者様の立場にたつて、よりよい病院作りのきっかけになればと掲載させていただきます。

resident 研修医 紹介 introduction



岡崎大樹 加藤悦史 中根俊樹 早川都紀子 原孝 淵野真広 水野圭子 水野里香

平成16年度より始まった新研修医制度のもと、5月より当院で研修されている8名の研修医の方です。各科をまわっていますので、みなさんの診療に携わることもあるかと思いますが、

どうぞよろしくお願いたします。



研修医生活が始まって

原孝（1年目研修医）

今年の3月に名古屋大学を卒業し、医師国家試験に何とか合格し、5月から名城病院で研修医として勤務し始めました。

医師国家試験ってというと合格率90%で、合格して当たり前って皆さん思われていますが、受ける方としてはかなりのプレッシャーがあって、直前2ヶ月は毎日12～14時間勉強していても不安でなかなか寝付けなから入眠剤を飲んでいました。だから、合格発表で自分の番号を見つけた時はほんと嬉しかったというか、ほっとしました。

無事、合格したおかげで、5月からは研修医として名城病院で働き始めたんですが、すべてが初めてのことばかりで、精神的にも肉

体的にもかなり大変です。研修医はいろいろな科を1～2ヶ月でローテーションしていく制度です。そのおかげでようやくその科に慣れた頃に違う科に異動してしまいます。これは予想以上に大変な事として、言ってみれば毎月毎月転校生になっているみたいなもので、すごくストレスがたまります。ただ幸いな事は、名城病院にかかってらっしゃる患者さまの多くの方は、我々若い医者に対して「こんな若い医者で大丈夫なの？」みたいな事を言われる方はほとんどいらっしゃらないですし（内心はどう思われているかわかりませんが…）、コメディカルの方々も大変親切にしてくださるので、毎日くじけず何とかやっていけています。

いきなり、愚痴っぽくなってしまってますね。

僕は名大に入学する前に紆余曲折があって現在は35歳です（10

年の遠回りが、失われた10年になるのか、意味のある10年なのかはまだ評価できません）。

35歳になって、先に書いたように新しい環境や新しい仕事に適應していくのはほんとに大変で、何度もやめたいなあって思いました。そんな時ふと『世間の35歳はもう結婚もして子供もいて、毎日同じような仕事をしている人が多いだろう、そういった安定している幸せも少しうらやましいけど、新しい事にチャレンジできて自分の生活もきっと幸せだよな』って思えるようになってからは、そんなに辛くはなくなりました。

いい医者になりたいけれど、いい医者ってどんな医者だろうっていう問題にも結論は出ていませんが、今のような前向きな気持ちで取り組んでいけば、不惑に到達する頃にはその答えも見えてくるのではないかと期待しています。



わが家にはネコが1匹います。4歳になるアメリカンショートヘアの錦之助おみすけです。みんなはきんちゃんと呼んでいます。好きなものは「なまたまごっ」ですが、ちっちゃい頃に腎臓を悪くしてからは、病院のおいしくないごはんしか食べられません(><)でもたま～にアイスクリームのフタをプレゼントしちゃいます。その時はきんちゃん得意のお手を披露してもらいます。あんまりしつこくお手を要求するとお手からネコパンチに変わります(^.^) きんちゃんがなにより一番好きなのは、おさんぽです。外で生活する為のワクチンをしてないので、ひもで繋いでお庭で遊びます。でもそれだけじゃ物足りなくていつも彼女に逢いに隙を見て外に逃げて行ってしまいます。

そんなきんちゃんと遊ぶのはとっても楽しいです☆ (保健指導室 山内花織)





放射線 Q & A

放射線科(画像情報室)

Q 最近数秒で全身の撮影ができるCT装置があると聞きましたが、今までのCT装置との違いを教えてください。

A 最先端のCT装置はマルチディテクターCTとよばれ、従来のヘリカルCT装置と比べ高速で広範囲の撮影が可能になりました。

CT撮影の基本原理は、X線を人体の横断面に360度の多方向から当て、その透過してきたX線を検出器(ディテクター)で集め、得られたデータをもとにコンピュータで再構成して横断面の画像を作ります。

開発当初のCT装置は検出器が1個で1断面(1スライス)を得るのに5分程度の時間が必要でした。その後、X線を扇形にして人体を1度におおむね検出器をたくさん配置し、X線管球と検出器を同時に回転させることで1スライスを1秒程度で撮影できるようになり、CT装置は普及しました。次に登場したヘリカルCT装置は、X線管球と検出器を連続で回転させ、同時にベッド(人体)を体軸方向(頭→足方向)に連続

スライドして、らせん状に撮影します。短い時間で連続した多くのスライスを撮影できるようになりました。最新鋭のマルチディテクターCTでは、従来1回転で1スライス(1画像)しか撮影できなかったところを、検出器を体軸方向に複数列ならべて1度にたくさんのスライスが得られるようになり、高速で広範囲の撮影が可能となりました。

Q マルチディテクターCTは、どれくらい速く撮影できますか?

A 従来のヘリカルCTがX線管球と1列の検出器を1秒間に1回転して、1スライスを撮影すると仮定します。

マルチディテクターCTでは体軸方向に検出器を4列ならべることで、1秒間に4スライスを撮影します。即ち4倍速く撮影できます。16列にすることで16倍速くなります。さらに最新鋭の装置は0.5秒以下で1回転できるので16列で32倍速く撮影できます。腹部の撮影で30秒の息止めをお願いしていたのが、数秒ですみます。

Q マルチディテクターCTでのメリットは何ですか?

A 長い時間息を止められない患者様や、広い範囲の撮影が必要な

患者様は、短時間で撮影ができるので負担が軽減できます。造影検査では、的確にタイミングを合わせることができ、薬の使用量を減らすことができます。

新しい検査法として、心臓の冠動脈(径が2~5mmくらい)をはっきりと撮影できるようになりました。絶えず動いている心臓は、高速での撮影でなければ、鮮明にとらえることができませんでした。

Q マルチディテクターCTで被ばくが増えることはありませんか?

A 検出器の感度が向上し、X線にあたる時間も短くなるので、被ばくが増えることはありません。従来と同じ撮影内容であれば、被ばくは少なくなります。

名城病院放射線科では、新たにマルチディテクターCTを設置する予定です。

最新鋭装置の性能を十分に引き出し、患者様に多くの情報を還元できますよう積極的に活用していきたいと考えております。

興味をもたれた方、撮影を希望される方は、主治医または放射線科まで、ご相談ください。

名城病院診療等のご案内

■ 診療科目

内科・循環器科・小児科(小児循環器)・外科
整形外科・脳神経外科・心血管外科・皮膚科・泌尿器科
産婦人科・眼科・歯科口腔外科・神経内科

※神奈川内科及び午後の診療等、詳しくは 医事課 (052)201-5311
内線2132 にお問い合わせ下さい。URL <http://www.kkr.or.jp/meijo>
※医療福祉に関するお問い合わせは、医療福祉相談室 内線 5105まで

■ 診察受付時間

新患受付 午前8:30~11:30まで
再来受付 午前8:00~11:30まで

■ 面会時間

平日 午後0:30~8:00まで
土・日・祝 但し、①小児科病棟は、午後7:00まで
②ペビーの面会は、

| |
|---------------|
| 午後0:30~1:30まで |
| 午後3:30~4:30まで |
| 午後6:30~7:30まで |

の3回です。
③ICU室への面会は30分以内に限りさせていただきます。

■ 診療案内

休診日 土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月29日~1月3日)・創立記念日(11月6日)

■ 所在地

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1
TEL (052) 201-5311 FAX (052) 201-5318

編集後記



アテネオリンピックでの、日本の活躍凄かったですね。水泳・柔道・体操・マラソンと軒並み、金、金、金に輝き、日本中が睡眠不足に陥った3週間でした。水泳・体操も元は日本のお家芸とまでいわれた種目でしたが、外国勢に押され、一時まったく奮わなくなった時期がありました。そこで協会・選手・所属チームが一体となって、長期的視野にたった組織的・科学的な育成方針に取り組んだ結果、連日のゴールドラッシュに繋がったとスポーツ紙は報じていました。只、連日無二に努力するだけではなく、努力を实らせるための科学的根拠とそれを実践させる組織作りが大切ということでしょうか。当院も「わかりやすい、より安全な病院」をめざして、平成16年度より若干の組織変更を行いました。このあたりのことは院長が巻頭で詳しく述べさせていただいておりますが、この組織変更が後々、名城病院における医療の金メダルに繋がるように、職員一同精進していかねば、と感じるのはオリンピックで寝不足ぎみな私だけでしょうか。(T.K)